

【様式 02】高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.

14201

1. 開設大学	広島工業大学 環境学部		開催方法 (キャンパス・施設)		☒ 対面 (本学) ☐ オンライン (同時・録画)	
2. 科目名	地球環境のふしぎ					
	学問分野	番 号	43	名 称	環境	
3. 担当教員	田中健路, 崎田省吾, 小黒剛成 (環境学部 地球環境学科)					
4. 開講期間 (曜日)	令和 7 年 8 月 5 日 (火) ~ 令和 7 年 8 月 5 日 (火)					
開講時間	10 時 40 分 ~ 16 時 10 分 (90 分 × 3 回)					
個別開講日	1 回目 /	2 回目 /	3 回目 /	4 回目 /	5 回目 /	6 回目 /
5. 募集定員	20 人					
6. 科目内容・授業計画	<講座内容> 本講座では、「地球環境のふしぎ」をメインテーマとして、様々な地球環境問題を取り上げます。そして、それらの地球環境問題と国連が提唱する「2030 年までに達成すべき持続可能な開発目標 (SDGs)」に関連する諸課題について考えます。「地球科学」、「環境共生」、「環境情報」の各専門分野から体験学習を含めて学びます。 地球科学分野では、地球温暖化に関する最新の予測計算結果を基に、日本周辺で予想されている気温や降水量などの推移を紹介し、適応策や緩和策について意見交換を行います。SDGs 目標 13 (気候変動に具体的な対策を) に関連しています。 環境共生分野では、代表的な温室効果ガスである CO₂ が、大気中でどのくらいの濃度なのかを実際に分析 (中和滴定) して確かめ、SDGs 目標 13 (気候変動に具体的な対策を) について考えます。 環境情報分野では、地球環境を理解する上で重要な役割を果たす衛星リモートセンシングの概要と環境調査例について学びます。SDGs 目標 9 (産業と技術革新の基盤を作ろう) に関連しています。 <講座計画> 第 1 回 (10:40~12:10): 地球科学分野「最新の地球温暖化予測データを覗いてみよう」 第 2 回 (13:00~14:30): 環境共生分野「大気中の CO₂ 濃度を分析しよう」 第 3 回 (14:40~16:10): 環境情報分野「地球環境リモートセンシング」					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし					
9. 開講条件 ※1 あり・ ☒ ない	① 最少開講人数 (人) 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日: 6 月末まで					
その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン (同時・録画) の使用ソフト、受講時の注意など 筆記用具を持参してください。 募集定員を超過した場合は、できる限り受け入れられるよう調整を行います。					
開設大学への交通手段	https://www.enica.jp/ 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。